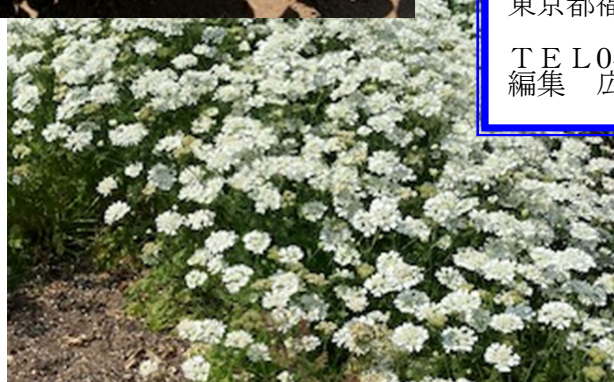


広報第80号



あきる台公園



第2サンシャインビラ

SUNSHINE-VILLA

第80号
社会福祉法人
福陽会
第2サンシャインビラ
東京都福生市福生
3244-10
TEL 042-553-3701
編集 広報委員会



4月25日



るのママ吹奏楽団の皆さま



ご家族様と楽しい一時を
過ごされました



また広がり始めた

楽しみの時間

副施設長 西尾 薫

コロナの影響で規模を縮小していた行事ですが、昨年の文化祭では久しぶりにご家族様をお迎えすることができ、施設全体が明るい雰囲気になりました。今年の観桜会からは、焼きそばなどを利用者様だけでなく、ご家族様にも楽しんでいただけるよう準備を進めてまいりました。少しずつ元の形に近づいていくように感じています。

部署が変わったことで、ご利用者様と直接お話しをする機会は以前より少なくなりました。それでも顔を出した際に「おしゃべりできて楽しかった」と声をかけていただけることがあり、その言葉にとっても励まされています。

また、日帰りドライブも昨年から再開し、外出の楽しみを少しずつ取

り戻せているように感じています。これからも、ご利用者様の笑顔や楽しみが増えるような関わりを大切にしていきたいと思えます。



「初心を忘れず」

3階 安齋 翔太

第2サンシャインビラに入職し、フロア異動を経験しながら、今年で六年目になりました。振り返ってみれば、あつという間の月日でした。最初のフロアでは介護の「か」の字も知らない状態で学びの日々。今のフロアではチームワークの大切さを実感させて頂きました。

長く同じ業種にいると「慣れ」を感じる場面が増えてきます。この「慣れ」は自分を成長させるものでもあり、退化させるものでもあると考えています。だからこそ、初心を忘れずに日々成長できるように、勤めていきたいと思っています。



心機一転

3階スタッフ 小林 健太郎

この度、四月十六日付で2階から3階へ異動となりました。2階では約七年間業務を勤めさせて頂きました。

日々の業務を通して多くの学びと貴重な経験を得る事が出来ました。2階の利用者様と職員の方々からのご指導ご支援には、心より感謝しております。

3階では、これまで培った経験を活かして、業務に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



1年近くの演奏
ありがとうございました
またお会いしましょう!



「感謝」

3階スタッフ 加藤 幸子

介護の仕事を始めて十八年となりました。当初は子育て中でもあり、介護の本質について考える時間もなく過ぎしてきました。時を越え母の看取りをしながら、子育てをある程度終えた今、介護の仕事をしていたからこそ出来た事や、得られた幸せを実感しています。

私は日頃から、小さな事にも感謝の気持ちを持つように心がけています。今の自分があることに感謝。日々出会いに感謝。淋しく思いがちな別れにも感謝。

介護の仕事をして、沢山の利用者様との出逢いのおかげで、今の自分があるという事の「感謝」、これからもこの言葉を大切にしたいと思っています。



仕事での私の課題と目標

2階スタッフ タジン トウン

私は日本に来てから介護の仕事を始めました。介護の仕事は、利用者様のお世話をするだけではなく、記録を書いたり、モニタリングを行ったり、レクリエーションの計画や振り返りを書く事も必要です。それを書く時、日本語で正しく表現することが私にとって難しく、介護の専門用語も多く、どのように書けばよいか分からないこともあるので、時間がかかってしまいます。これは私の弱点の一つだと思います。

また、夜間の時、利用者様の体調の変化や転倒の危険もあるため、注意しなければなりません。認知症の利用者様の対応も難しいです。同じことを何度も聞かれたり、急に怒ったり、不安な様子になることもあり、そういう時は、優しく声をかけることが大切だと思います。

私はまだ経験が少なく、日本語も十分ではないので、これからも勉強を続けて行きたいと思っています。



多様な仲間と支えるケア

4階スタッフ 井梅 直樹

新しい年度が始まり、日々スタッフと連携しながら、利用者様の生活を支えています。現場では外国の方のスタッフと共に働く機会が増え、夫々の文化や考え方に触れながら、新たな気づきや学びを得ています。言葉の違いがあっても丁寧に伝えあい、実際のケアを一緒に確認することで、安心して働ける環境づくりを大切にしています。

お互いの強みを活かしながら、利用者様に寄り添ったケアをチームで実践しています。より良いフロアとなるよう、今後も職員一同、安心と信頼のあるケアの提供に努めていきます。



100%の力を出そう

ノミの話

看護スタッフ 須間 愛理

ノミという小さな生きものがあります。ノミは、一メートルほどジャンプをすることができます。ある人がノミを三〇cmほどの高さのコップに閉じ込めました。その中でもノミは、ジャンプします。どうなると思いますか？

そうですね！
ジャンプして頭をコップにぶつけます。しかし、ノミも学習します。しばらくすると、三〇cmギリギリの高さでジャンプするようになります。数か月してコップを取りました。さて、ノミはどれくらいジャンプするでしょうか？

1. 7m? 三〇cm?
実は三〇cmしかジャンプしないのです。

これは人間にも当てはまります。『100%の力を尽くしている人は、

その力になります。そして、それを続けていきます』
逆に、30%の力しか出していない人は、その力になってしまふのです。そして、これからもそれぐらいしか出せずに生きていくのでしよう。
私は100%の力を出して、より成長していけるよう頑張りたいと思います。



けっこうなお点前で
ございます



デイサービス



カンパニー!



お抹茶
大変おいしゅう
ございました



福陽会に新卒者2名の方が入社されました

体力勝負

厨房スタッフ 小林 大祐

昨年7月より厨房スタッフとして勤務しております。主な業務は調理や配膳、仕込みなどですが、想像以上に体力を要する作業も多く、日々やりがいを感じながら取り組んでいます。

この重労働に負けない体づくりのため、日頃から筋トレに励み、プロテインなども取り入れながら体力維持に努めています。最近では日々の業務も良いトレーニングだと前向きに捉え、厨房でも筋トレの気持ちで体を動かしています。

利用者様と直接お会いする機会は限られますが、「美味しかったよ」というお言葉をいただくことが何よりの励みです。これからも鍛えた体力を活かし、皆様に喜んでいただける安心・安全な食事づくりに努めてまいります。



社会福祉士実習

社会福祉法人
福陽会
特別養護老人ホーム
第2 サンシャインピラ
〒197-0011
東京都福生市福生
3244-10
TEL 042-553-3701
FAX 042-553-3715
<http://www.fukuyokai.or.jp>

編集後記

ホルムズ海峡危機により、原油不足になってきている。石油から多くの日常生活用品が作られていることに、今更ながら驚くと共に先行きの不安を禁じ得ない。当たり前前に合ったことが当たり前でなくなる。地震・火事などの自然災害も多い中に、人的災害をもたらし欲しくない。介護支援の中でも特に、人と人の繋がりを大切にし、利用者様が生き生きと生活される空間を提供していく事が大事だと思えます。これからも、ご愛読宜しくお願ひ致します。(室賀)

